

わたしたちが運ぶのは未来です

運輸省



みなと しみず

発行所

第五港湾建設局

清水港工事事務所

〒424 静岡県清水市日の出町7番2号

TEL 清水<0543>52-4146(代)

テクノスーパーライナー

シンポジウムを開催

去る十月十二日(月)清水市日の出センター(マリニビル)において、テクノスーパーライナーのシンポジウムが清水港利用促進協会の主催で開催

された。同シンポジウムは、新形式の超高速船の認識を深め、運航に關しての問題点を把握するため開かれたもので、港湾、



物流、造船関係者ら二百五十人が参加する中、運輸省からは港湾局開発課中村豊開発企画調整官、新井洋一第五港湾建設局長、宮地陽輔企画課長、尾崎正明清水港工事事務所長、山本中部運輸局次長他が出席した。

冒頭、主催者の望月会長があいさつに立ち、「テクノスーパーライナーの清水港としての利用方法に關して考えて戴きたい」と呼びかけた。

続いて、宮城島市長あいさつのあと、TSL実用化促進議員連盟会長である原田昇左右衆議院議員から、「誘致の立地条件として清水港は良い環境にある」との説明があった。

次に行われた講演で、運輸省海上技術安全局戸田邦司局長は「TSLの研究開発の経緯と現在は模型実験船を建造している段階であり、技術的問題を解決した後は、実験輸送を経て平成十年度を目途に運航の予定をしているが、早まる可能性もある」と実用化に對する今後の計画をのべられた。

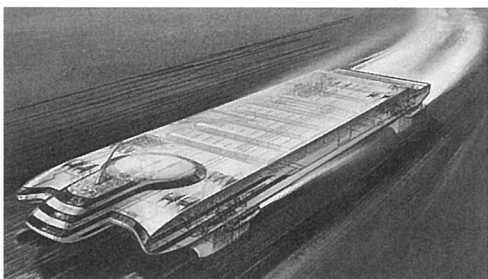
次に(財)港湾空間高度化センター御巫清泰理事長は、「TSLを受け入れるターミナル港について、港内の静穏度、水深、外洋航路までの距離、一日の貨物量、アクセス等」

の自然条件、社会条件に關する内容について話された。次に鹿島茂中央大学理工学部教授からTSLの経済性に關して「国内、国外での需要、他の輸送機関との運賃のバランス、建造コスト、荷役時間等」の問題点を話された。

このあとシンポジウムに移り、参加者からTSLの「建造費、輸送対象となる貨物の種類、運航に關すること等」専門分野からの活発な質問が出され、TSLの認識、さらには利用問題についても確認することができた。

「TSLの開発目標」
速力・50ノット
貨物積載量・1000トン

航続距離・50海里(930km)以上
耐航性・波浪階級6程度



TSLイメージ図

熱海コースタル リゾート

シンポジウム、92



パネルディスカッションの
新井局長 (中央)

十月十三日熱海後楽園ホテルで海岸利用についてのシンポジウムが熱海市の主催により開催された。

同シンポジウムは、二十一世紀に向けての豊かなウォーターフロントの創出のために開かれたもので、建設、漁業行政、観光等の関係者二百八十人が参加した。運輸省からは、新井洋一第五港湾建設局長がパネラーとして出席した。藤間昭二助役のあいさつのもと、東海大学海洋学部の酒匂敏次教授が「二十一世紀に向けて人が海に求めるもの」をテーマに基調講演をされた。

このあとのパネルディスカッションでは、なぎさからの贈りものふれあいのまちリゾート熱海をテーマに、酒匂教

静岡県のみなとシリーズ (3)

榛原町 榛原港

昭和三十年川崎町、勝間田村、坂部村の一町二村が合併して成立、面積五十三・三六平方キロメートル、人口約二万五千人を要する農業中心の町です。

特産品として、幕臣による牧之原開拓から百二十年、恵まれた自然環境と歴史に培われたはいばらやぶきた茶があります。静岡市、掛川市、菊川町に次いで全国第四位の荒茶生産額を誇り、全国茶品評会でも農林水産大臣賞に輝くなど活力ある茶業が行われています。また町の北東部、新幹線がくぐる高尾山、及び島田市にまたがる一帯には町勢の発展に大きくつながる空港の建設も予定されています。

静波海岸

駿河湾に面する白砂の砂浜が、勝間田川河口から坂口谷川河口約四キロメートルに及ぶ遠浅の海岸です。

東海地方では最大級の規模授をコーディネートに、パネラーには新井局長、田辺英蔵文教大学教授、甲賀幹久県漁連専務理事、内田滋市長、石井勝夫大熱海漁協組合長の五人が務め、熱海の海岸利用について討議が行われた。

を誇る海水浴場で、日本のカリフォルニアと呼ばれ年間百万人を超える海水浴客で賑わっています。

静波は明治二十二年川崎町となる前の町名で勝間田川河口の湊でもありました。



沿革

昭和三十五年地方港湾に指定され静岡県が管理しています。

古くは川崎湊と呼ばれ、勝間田川河口を利用して上納米を送る積出港として栄えました。その後明治に至り蒸気船の活躍により川根、掛川、森、二俣など遠州各地の物質を東は関東から西は伊勢まで沿岸貿易で賑わいましたが、明治半ば東海道線の開通による貨物ばなれ、加えて牧之原の開墾や勝間田川の改修による流下土砂、沿岸漂砂の堆積にも影響され、大正年間を最後に姿を没しました。

戦後、地域振興を計るうえで、の港湾の必要性から左岸導

流堤の整備が図られてきました。一時マリナー基地構想が策定されましたが、その後伊豆半島を中心とするマリナー建設ブームで漁業者に危機感を与え、榛南五漁協(吉田、坂井平田、相良、地頭方、御前崎)の反対等で計画は御破算となり、結局港の整備は進められていません。

最近では民宿のシーズンオフ対策による遊漁船の増加、小型船の避難、海水浴客の救難船のけい留等整備の必要性は高いのですが、今のところ本港にけい留施設はなく、隣接する吉田漁港が利用されています。

史跡、清浄寺

藤原氏が政治を治める平安時代中期、治安維持を目的に武士の起こりが見られた頃、勝間田川の流域に源氏の血をひく一族がおり、たまたま京



榛原港

都に起こった保元の乱に加わり活躍した時の大将、勝田

平三郎成長が勝間田氏の起りとされ、以来応仁の乱で今川軍に敗れるまで三百二十年間続いた郷土の豪族、勝間田氏一族が葬られているお寺です。国道百五十号線からほど近い山裾にあります。



清浄寺

なお、勝間田川上流には楠木流築城の流れをくむと言われる中世郷土の代表的な山城、城そのものは現存しませんが、勝間田城跡があります。城郭は原形を残し当時の面影が偲ばれます。



勝間田一族の墓

(ウォーター・フロント窓口)

港湾整備促進大会

十月二十八日日本港湾協会主催による「東海地区港湾整備促進大会」が名古屋港湾会館で開催された。

平成五年度予算の確保、第八次港湾整備五箇年計画、第五次海岸事業五箇年計画の推進を目標とする大会であり、多数の港湾関係者が参加するなか、静岡県からは宮城島清水市長（宮川助役代理）、下村御前崎町長、青木土肥町長、尾崎清水港工事事務所長らが出席した。

潜水防災協が 清水港視察

十月二十二日日本海区潜水作業災害防止協議会（新潟市）の十一名が、清水港の港湾建設状況を視察された。

当日は、頂きに雪化粧をした初冬の富士山も姿を見せる晴天に恵まれ、当事務所での清水港に関する説明のあと、監督測量船「まさき」に乗船し堀内次長他の案内で約一時間に亘る港内視察後、当地を後にされた。

みなと色彩計画

— 清水港 —

当所の庁舎は昭和四十年の新築以来二十七年が経過、この間何回かの化粧直しを行って来ましたが、最近外壁等の汚れが目立つため、今年度中に塗装をする予定です。

清水港では、清水港管理局において「みなと色彩計画」が策定され、港を八つのゾーン（別表）に分け、それぞれが機能、特性に応じた配色が

計画されている。

このうち「日の出地区」については、外壁は茶系とグレースのピンク系、屋根はエメラルドグリーン系をベースカラーに、アクセントカラーとして青、白、茶系を配色する計画になっている。

当事務所の塗り替えも、日の出地区の色彩計画に従い、周囲の美しい景観との調和を図るため、現在、色彩について検討中です。

（工務課）

ゾーン	カラー計画の方針	イメージ
興津・袖師第1埠頭	眺望地点としての日本平から背景の自然を基調にコンテナやクレーンはアクセントカラーとして展開	アクティブ 躍動感
袖師第2埠頭東	タンク等の白やシルバーカラーにシンボルカラーでアクセント。パイプラインは、アクセントカラーとして使用する。空地に植栽をグリーンベルトとして配置し潤いある空間をつくる。	シャープな メカニックな
江尻	白とブルー系の配色を中心に明るくはつらつとした黄色と反対色のブルーをコントラストをつけて使用し、フレッシュさを演出する。植栽を配置し潤いある空間をつくる。	清潔感 クリア
日の出	壁面は落ち着いた色と格調ある配色を持つ茶系と同系色のピンク色系、屋根はエメラルドグリーン系でマリニビル周辺の配色を面的に扱いて色彩計画の基調とする。明度の低い茶系は、使用し過ぎると暗いイメージになるので面積には考慮する。植栽には、できるだけ配慮し潤いある空間を創出する。彩りは、花などの自然物で展開する。	賑わい活気 楽しみうるおい こいこい
富士見	タンク倉庫の面積を考慮し、シンボルカラー、アクセントカラーを使用しデザイン的に展開。巴川周辺は、自然を生かし植栽に配慮する。	アクティブ 活気
貯木場	貯木場の自然色が基調。三保の松原の松並木の自然と調和した人工物の色彩計画を展開する。	ナチュラル 素朴
三保	日の出地区の対岸の視界としての景観を演出する。産業色のボーキサイトの赤褐色が美しく見えるようにタンククレーン等の人工物は白や無彩色を使用。楽しめる視界を創出する。	さわやかさ おもしろさ 洗練された
真崎	海水浴、マリンスポーツができる空間としてライトトーンで統一した明るさの色彩計画を展開する。	スポーティかつ さわやかな 活気ある

未来の港

この夏、日本港湾協会主催・運輸省港湾局協力による「未来の港」作文・図画大募集が行われました。

応募テーマは、未来の港について、作文及び図画により想像していただくもので、対象は小学校四〜六年生でした。当局あて寄せられた作品は、図画五十六点、作文七点にのほりました。

賞の発表はまだですが、応募作品から作文一点及び図画二点をここに紹介します。尚、応募いただいた作品は、作品集として小冊子にまとめ応募者にお礼をと思料中です。

作文

「二十一世紀の港」

清水市立入江小学校

四年二組 望月麻衣

わたしが想像する 二十一世紀の港には、いろんな形をした船がうかんでいます。コロンブスが見つけた サンタマリア号は、何もかざりがな

い ふつうの船だけど、二十一世紀は、星の形をしたにじいろに光る船や、サメの形をした 大きなせん水かんや、たくさんのライトがついたエビフライの形をした船などがあります。乗っている人は、人間ばかりではありません。魚や、たこや、いかも乗って

います。みんな 自分用の船を持っていきます。何人も乗れる客船のような船や、一人用の小さな船など、さまざまです。客船の中で代表的なくじら号は、生きていくくじらと同じように、せなかからふん水を出します。客室の数は、数えきれないほど多くて、それぞれの部屋に置いてある家具は、自分が気に入った物だけです。何日も、船で旅行をして港に着くと、ほかの船で旅をした人や、お店の人たちが かんげいしてくれます。そして、いろんな船のいろいろな国の人が、みんなその国の服を着て、港いっぱい広がってパーティーをやります。おどり出す人、たこをたたく人、マイクを持って歌う人、世界中の言葉や、歌、料理。それはそれはたいへんにぎやかな港祭りです。最後に港かっぱれをおどります。そんなパーティーが、大きな船が港に入るたびに、くり返し行われます。

港では毎日ヨーヨーやわたあめ、それに世界中のおもちゃやおかしが売られています。子どもも大人もみんなで、いろんな物を買って来んでいます。たくさんならんだ店の上には回転を何回もするジェットコースターや百メートルぐらいの高さがあるかんらん車、海の

中に飛びこむウォータースライダーなど楽しい乗り物がいっぱいの大遊園地もあります。

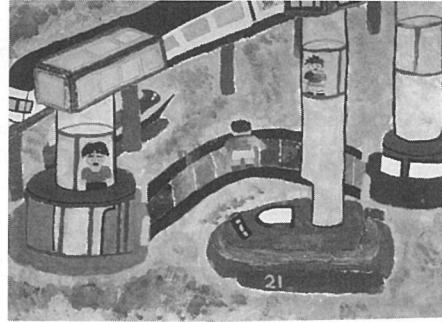
港には学校の船があつて、夏になると入江小学校の船も全校生徒を乗せて世界一周の旅行に出ます。一年から六年まで船の中の教室に分かれて勉強します。体育の時間は船の上の運動場でドッジボールをやったり、てつぼう雲でもできます。水泳の時間は船から海に飛びこみます。世界中の港を回って世界中の小学生と友達になることができます。

世界の海にはロボット島とか動物園島、海の上を動き回る、ひょうたん島など、おもしろい島がいっぱいあります。港からはどんなに遠い島にもいける船が出ています。いろいろな船がいっぱいあるので港も入りきれなくなります。船は車と同じようにエレベーターで二階や、三階、大きな港では十階まで上がつてとめます。ゴミやきたない油もなくて港はまっ青で水がすんでいます。鳥も魚も人間も港に来るのが楽しくなる二十一世紀の港です。

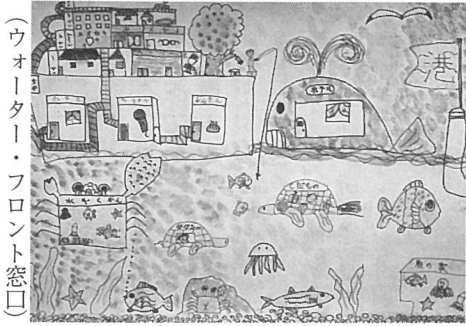
図画の部

清水市立駒越小学校

六年 中村太郎



清水市立入江小学校
四年 大和多美紀



(ウォーター・フロント窓口)

工場だより

ー 下田工場 ー

現場見学会の実施

下田市の柿崎地区役員の方を対象に作業基地並びに建設中の防波堤の現場見学会を10月26日に実施しました。これは、下田港防波堤建設に対し、地元の人々に理解を深めて頂くために行ったもので稲葉区長を初め役員6名の方が参加されました。



作業基地での現場見学

下田市浄化センター通水式

下田市福浦で既に下田市浄化センター処理場及び管理棟が完成されていましたが、下田旧町内と東西本郷地区で供用開始となり11月24日に通水式が行われました。

浄化センター処理場建設には、当工場の作業基地の計画・築造工事も深く係わった経緯があり、通水式には、事務所次長・工場長が臨席しました。

(安西良治)

ー 御前崎工場 ー
アカウミガメの放流を体験して

9月23日、幼稚園児達と一緒にアカウミガメの放流に娘共々参加しました。その日はあいにく孵化したカメが少なく、5人に一匹くらいの割合でしたが、直接手にとり触れることもできました。母なる海をめざし、ただ黙々と歩く子ガメに思わず熱くなり、声援を送っていました。

産卵場所をバトロールしている方の話を聞くと、放流した子ガメが親ガメとして帰っ

清水港の動き

- (10月)
- 12日 テクノスパーライナー シンポジウム (清水)
- 13日 熱海コースタルリゾートシンポジウム (熱海)
- 14日 下田港景観調査委託委員会 (下田)
- 16日 下田港新造船起工式 (蒲郡)
- 21日 第9回清水港湾機関長会議 (清水)
- 28日 東海地区港湾整備促進大会 (名古屋)
- 29日 御前崎港整備構想調査委員会 (御前崎)
- (11月)
- 5日 空港を核とした街づくり・地域づくりシンポジウム (静岡)

てくる確率は一万匹に一匹でほとんど魚達に食べられてしまふそうです。再び帰ってきても、砂浜の減少、海岸のゴミ、そして産卵時期が観光シーズンと重なるため、浜辺で打ち上げる花火の音等、環境の変化により上陸せず帰ってしまうカメが増加傾向にあることを聞き、私達は、この身近な自然環境さえも守れなくなってきた事に憤りさえ感じる思いでした。この日放流した子ガメ達が一匹でも多く、帰ってきてくれるよう願わずにはいられません。

(村松佳春)

- 9日 平成5年度予算変更要求ヒア (名古屋)
- 10、11日 管内主管部長会議 (的矢(三重県))
- 16日 御前崎港整備促進議員懇談会 (浜松)
- 17日 清水港セミナー (東京)
- 20日 沼津マリントウンプロジェクト委員会 (沼津)
- 24日 平成5年度営繕・宿舍予算要求ヒア (名古屋)
- (12月)
- 7、8日 管内港湾工事報告会 (名古屋)
- 14、15日 管内工務工事課長会議 (名古屋)
- (1月)
- 13日 第10回清水港湾機関長会議 (清水)